

〈凡例〉

■ : 入力不可

：入力必須

赤字：入力例

青字：上限文字數

労働時間の延長及び休日の労働は必要最小限にとどめられるべきであり、労使当事者はこのことに十分留意した上で協定するようにしてください。

なお、使用者は協定した時間数の範囲内で労働させた場合であっても、労働契約法第5条に基づき安全配慮義務を負います。

なお、使用者は協定した時間数の範囲内で労働させた場合であっても、労働契約法第5条に基づく安全配慮義務を負います。

◆ 3 6 協定で締結した内容を協定届（本様式）に転記して届け出てください。

◆（任意）の欄は、記載しなくても構いません。

[illegible]

時間外労働
休日労働に関する協定届（続紙）

様式第9号の3の5（第70条関係）

2 / 2

必ずページ数及び総ページ数を入力してください。

時間外労働	④ 下記①に該当しない労働者	時間外労働をさせる必要のある具体的事由	業務の種類 【事業場外】	労働者数 （満18歳以上の者）	所定労働時間 （1日） （任意）	延長することができる時間数							
						1日		1箇月（④については45時間まで、⑤については42時間まで）		1年（④については360時間まで、⑤については320時間まで）			
						法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 （任意）	法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 （任意）	法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 （任意）		
④ 1年単位の 変形労働時間制により労働する労働者	事業計画・経営企画の策定、見直し	※44文字以内	※54文字以内	人	7 時間 30 分	3 時間	3 時間	30 時間	40 時間	250 時間	370 時間		
		※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分					
		※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分					
		※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分					
	その他（事由不明を含む。）	※44文字以内	※54文字以内	人	7 時間 30 分	2 時間	2 時間	15 時間	25 時間	150 時間	270 時間		
		※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分					
		※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分					
		※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分					
	※44文字以内	※54文字以内	人	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分			
		※44文字以内		※54文字以内	分	分	分	分					
		※44文字以内		※54文字以内	分	分	分	分					
		※44文字以内		※54文字以内	分	分	分	分					
⑤ 下記①に 該当しない労働者	新規事業・プロジェクトの立ち上げ	※44文字以内	※54文字以内	人	7 時間 30 分	3 時間	3 時間	20 時間	30 時間	200 時間	320 時間		
		※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分					
		※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分					
		※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分					
	その他（事由不明を含む。）	※44文字以内	※54文字以内	人	7 時間 30 分	3 時間	3 時間	20 時間	30 時間	200 時間	320 時間		
		※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分					
		※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分					
		※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分					
	※44文字以内	※54文字以内	人	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分			
		※44文字以内		※54文字以内	分	分	分	分					
		※44文字以内		※54文字以内	分	分	分	分					
		※44文字以内		※54文字以内	分	分	分	分					
休日労働	機械の故障等のトラブルへの対応	※44文字以内	※54文字以内	人	土日祝			1 日	8 時 ~ 17 時	※30文字以内			
		※44文字以内	※54文字以内		※57文字以内	※64文字以内	分 ~ 分						
		※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分					
		※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分					
	その他（事由不明を含む。）	※44文字以内	※54文字以内	人	その他			その他	8 時 ~ 17 時	※30文字以内			
		※44文字以内	※54文字以内		※57文字以内	※64文字以内	分 ~ 分						
		※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分					
		※44文字以内	※54文字以内		分	分	分	分					
	※44文字以内	※54文字以内	人					時 ~ 時	※30文字以内				
		※44文字以内		※54文字以内	※57文字以内	※64文字以内	分 ~ 分						
		※44文字以内		※54文字以内	分	分	分	分					
		※44文字以内		※54文字以内	分	分	分	分					
※44文字以内	※54文字以内	人					時 ~ 時	※30文字以内					
	※44文字以内		※54文字以内	※57文字以内	※64文字以内	分 ~ 分							
	※44文字以内		※54文字以内	分	分	分	分						
	※44文字以内		※54文字以内	分	分	分	分						

臨時的な特別の事情がなければ、限度時間（月45時間又は42時間・年360時間又は320時間）を超えることはできません。
限度時間を超えて労働させる必要がある場合でも、時間外労働は限度時間にてできる限り近づけるように努めてください。

時間外労働に関する協定届（特別条項）
休 日 労 働

様式第9号の3の5（第70条関係）

事由は具体的に定めてください。 業務の種類を細分化し、明確に定めてください。		労働者数 (18歳以上の者)	1 日 (任意)		1 箇 月 (時間外労働及び休日労働を合計した時間数。⑤については100時間未満に限る。)				1 年 (時間外労働のみの時間数。①については720時間以内、⑤については960時間以内に限る。)				
			延長することができる時間数 法定労働時間を 超える時間数 (任意)	所定労働時間を 超える時間数 (任意)	限度時間を超えて労働させることができる回数 (④については6回以内、⑤については任意。)	延長することができる時間数 及び休日労働の時間数 法定労働時間を超所定労働時間を 超える時間数と休日える時間数と休日 労働の時間数を合労働の時間数を合 算した時間数 (任意)	限度時間を超えて労働させる場合の割増賃金率 (任意)	延長することができる時間数 法定労働時間を 超える時間数 (任意)	所定労働時間を 超える時間数 (任意)	限度時間を超えて労働させる場合の割増賃金率 (任意)			
① 学務的業務等による受注一般顧客の集中による業務の繁忙	※44文字以内	人	7 時間 分	7 時間 30 分	4 回	60 時間 分	70 時間 分	※50文字以内	35 %	550 時間 分	670 時間 分	※50文字以内	35 %
	その他(事由不明を含む。)	人	7 時間 分	6 時間 30 分	3 回	55 時間 分	65 時間 分	※50文字以内	35 %	450 時間 分	570 時間 分	※50文字以内	35 %
	※44文字以内	人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%		
	※44文字以内	人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%		
② 学務的業務等による受注一般顧客の集中による業務の繁忙	※44文字以内	人	6 時間 分	6 時間 30 分	8 回	75 時間 分	85 時間 分	※50文字以内	35 %	750 時間 分	870 時間 分	※50文字以内	35 %
	※44文字以内	人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%		
	※44文字以内	人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%		
	※44文字以内	人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%		

限度時間を超えて労働させる場合における手続	その他	※64文字以内
限度時間を超えて労働させる労働者に対する健康及び福祉を確保するための措置	(該当する番号) ① 労働時間が一定時間を超えた労働者に医師による面接指導を実施すること。 ② 労働基準法第37条第4項に規定する時刻の間に於いて労働させる回数を1箇月について一定回数以内とすること。 ③ 終業から始業までに一定時間以上の継続した休息時間を確保すること。 ④ 労働者の勤務状況及びその健康状態に応じて、代休休日又は特別な休暇を付与すること。 ⑤ 労働者の勤務状況及びその健康状態に応じて、健康診断を実施すること。 ⑥ 年次有給休暇についてまとまった日数連続して取得することを含めてその取得を促進すること。 ⑦ 心とからだの健康問題についての相談窓口を設置すること。 ⑧ 労働者の勤務状況及びその健康状態に配慮し、必要な場合には適切な部署に配置転換をすること。 ⑨ 必要に応じて、産業医等による助言・指導を受け、又は労働者に産業医等による保健指導を受けさせること。 ⑩ その他	(具 体 的 内 容) 対象労働者への医師による面接指導の実施、対象労働者に11時間の勤務間インターバルを設定、職場での時短対策会議の開催 ※42文字以内
上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合計した時間数は、1箇月について100時間未満でなければならず、かつ2箇月から6箇月までを平均して80時間を超えないこと(自動車の運転の業務に従事する労働者は除く。)		
協定の成立年月日	年 月 日	
協定の当事者である労働組合(事業場の労働者の過半数で組織する労働組合)の名称		
又は労働者の過半数を代表する者の氏名		
協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法	()	
○上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表することであること。		
○上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。		
年 月 日		
労働基準監督署長殿	職 名	代表取締役
	使用 者 氏 名	田中 太郎

※いずれの入力欄についても、文字数が収まらない場合には、「別添のとおり」と記載の上、協定の内容がわかる資料を添付してください。

チェックボックスにチェックがない場合には、形式上の要件に適合している協定届とはなりません。

1か月及び1年の法定労働時間を超える時間数を入力する場合、1年間の上限時間を計算する際の起算日を入力してください。
その1年間においては協定の有効期限にかかわらず、起算日は同一の日である必要があります。

限度時間を超えて時間外労働させる場合の割増賃金率を定めてください。
この場合、法定の割増率(25%)を超える割増率となるよう努めてください。

月の時間外労働の限度時間(月45時間又は42時間)を超えて労働させる回数を定めてください。
年6回以内に限ります。

限度時間(月45時間又は42時間)を超えて労働させる場合の、1か月の時間外労働と休日労働の合計の時間数を定めてください。
月100時間未満に限ります。
なお、この時間数を満たしていても、2～6か月平均で月80時間を超えてはいけません。

限度時間を超えて時間外労働させる場合の割増賃金率を定めてください。
この場合、法定の割増率(25%)を超える割増率となるよう努めてください。

限度時間(年360時間又は320時間)を超えて労働させる1年の時間外労働(休日労働は含みません)の時間数を定めてください。
自動車運転の業務以外の者(事務職員等)については、年720時間以内に限ります。

月の時間外労働の限度時間(月45時間又は42時間)を超えて労働させる回数を定めてください。

限度時間(月45時間又は42時間)を超えて労働させる場合の、1か月の時間外労働と休日労働の合計の時間数を定めてください。

限度時間(年360時間又は320時間)を超えて労働させる1年の時間外労働(休日労働は含みません)の時間数を定めてください。
自動車運転の業務に従事する場合であっても、年960時間以内に限ります。

業務の種類が8つを超える場合は続紙を使用します。

必ずいずれかの措置を講ずることを定めてください。
チェックボックスにチェックを入れ、右欄に具体的な内容を入力してください。

時間外労働と法定休日労働を合計した時間数は、月100時間未満、2～6か月平均80時間以内でなければいけません(自動車運転の業務に従事する労働者を除きます。)。これを労使で確認の上、必ずチェックを入れてください。チェックボックスにチェックがない場合には、有効な協定届とはなりません。

協定書の内容に合わせてプルダウンから選択若しくは自由入力欄に入力する必要があります。
事由は一時的又は突発的に時間外労働を行わせる必要のあるものに限る、できる限り具体的に定めなければなりません。
「業務の都合上必要」ととき「業務上やむを得ないとき」など恒常的な長時間労働を招くおそれがあるものは認められません。

「その他(事由不明を含む。)」を選択した場合は、自由入力欄に具体的な内容を入力してください。

「分類不能の職業」を選択した場合は、自由入力欄に具体的な内容を入力してください。

「その他」を選択した場合は、自由入力欄に具体的な内容を入力してください。

労働者の過半数で組織する労働組合がない場合には、36協定の締結をする者を選ぶことを明確にした上で、投票・挙手等の方法で労働者の過半数代表者を選出し、選出方法を入力してください。
使用者による指名や、使用者の意向に基づく選出は認められません。

時間外労働に関する協定届（特別条項）（続紙）
休日労働

様式第9号の3の5（第70条関係）

2 / 2

必ずページ数及び総ページ数を入力してください。

臨時的に限度時間を超えて労働させることができる場合	業務の種類 【事業場外】	労働者数 (満18歳以上の者)	1日 (任意)	1箇月 (時間外労働及び休日労働を合算した時間数。⑤については100時間未満に限る。)			1年 (時間外労働のみの時間数。①については720時間以内、②については960時間以内に限る。)						
			延長することができる時間数		限度時間を超えて労働させることができる回数 (⑤については6回以内、⑥については任意。)	延長することができる時間数及び休日労働の時間数	限度時間を超えた労働に係る割増賃金率	延長することができる時間数		限度時間を超えた労働に係る割増賃金率			
			法定労働時間を超える時間数	所定労働時間を超える時間数 (任意)		法定労働時間を超える時間数と休日労働の時間数を合算した時間数 (任意)		法定労働時間を超える時間数	所定労働時間を超える時間数 (任意)	限度時間を超えた労働に係る割増賃金率			
④ 下記④以外の者	事業計画・経営企画の策定、見直し	管理の職業務従事者	1人	7時間 分	7時間 30分	4回	60時間 30分	70時間 分	35%	550時間 分	670時間 分	35%	
	※44文字以内	※54文字以内			※50文字以内		※50文字以内						
	その他(事由不明を含む。)	分類不能の職業		1人	6時間 分	6時間 30分	3回	55時間 分	65時間 分	35%	450時間 分	570時間 分	35%
	○○○○○○○○○○○○○	※54文字以内				※50文字以内		※50文字以内					
※44文字以内	※54文字以内	1人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%		
※44文字以内	※54文字以内	1人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%		
⑤ 自動車の運転の業務に従事する労働者	季節的要因等による受注一掃顧客の集中による業務の繁忙	自動車運転従事者	1人	6時間 分	6時間 30分	8回	75時間 分	85時間 分	35%	750時間 分	870時間 分	35%	
	※44文字以内	※54文字以内			※50文字以内		※50文字以内						
	※44文字以内	※54文字以内		1人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%
	※44文字以内	※54文字以内		1人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%
※44文字以内	※54文字以内	1人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%		